



DFR11EQ Version 5

Digital Equalizer with Feedback Reducer, Limiter, and Delay
Egaliseur graphique numérique à réducteur de Larsen, écrêteur, et délai
Digitale graphischer Equalizer mit Ruckkopplungsreduzier-Stufe, Limiter, und Delay
Ecuilizador gráfico digital con reductor de realimentación, limitador, y retardo
Equalizzatore grafico digitale con attenuatore di retroazione, limitatore, e ritardo
デジタル・イコライザー (フィードバック・リデューサー, リミター, デイレイ付き)

TABLE OF CONTENTS

ENGLISH	3
Installing the DFR11EQ Software	3
DFR11EQ Panels	4
DIP Switches	5
Audio Connections	6
Using the DFR11EQ as a Stand-alone Feedback Reducer	7
Specifications	8
Audio Connectors	9
Certifications	10
Audio Cables	11
Digital Connectors and Cables	12
FRANÇAIS	13
Installation du logiciel	13
Matériel DFR11EQ	14
Interrupteur à positions multiples	15
Branchements audio	16
Utilisation du DFR11EQ en tant que réducteur de larsen autonome	17
Caractéristiques	18
Connecteurs audio	19
Homologations	20
Câbles audio	21
Connecteurs et câbles numériques	22
DEUTSCH	23
Installation der Software	23
DFR11EQ Hardware	24
Dip-Schalter	25
Audio-Anschlüsse	26
Verwendung des DFR11EQ als Unabhängige Rückkopplungsreduzier-stufe	27
Technische Daten	28
Audio-Steckverbindungen	29
Zertifizierungen	30
Audio-Kabel	31
Digitale Steckverbinder und Kabel	32
ESPAÑOL	33
Instalacion del software	33
Hardware del DFR11EQ	34
Interruptores dip	35
Conexiones de audio	36
Uso del DFR11EQ como reductor de realimentacion independiente	37
Especificaciones	38
Conectores de audio	39
Certificaciones	40
Cables de audio	41
Conectores y cables para señales digitales	42
ITALIANO	43
Installazione del software	43
Hardware del DFR11EQ	44
Interruttori dip	45
Collegamenti audio	46
Uso del DFR11EQ come attenuatore di retroazione autonomo	47
Dati tecnici	48
Connettori audio	49
Omologazioni	50
Cavi audio	51
Connettori e cavi digitali	52
日本語	53
DFR11EQのパネル	54
ディップ・スイッチ	55
オーディオ接続	56
DFR11EQを単独でフィードバック・リデューサーとして使用する	57
仕様	58
オーディオ・コネクタ	59
認定	60
オーディオ・ケーブル	61
デジタル・コネクタとケーブル	62

DFR11EQ バージョン 5 クイック・リファレンス・ガイド

DFR11EQ バージョン 5 は付属ソフトウェアと共に使用し、さまざまなデジタル・サウンド処理を幅広くお使いいただけるよう設計されています。また単独でも、非常に効果的なフィードバック・リデューサーとしてご利用いただけます。

このクイック・リファレンス・ガイドは、ソフトウェアのインストールや、DFR11EQ をコンピューターなしでフィードバック・リデューサーとして使用するのに必要な説明がすべて記載されています。ソフトウェアの高度な機能に関する説明は、ソフトウェア CD-ROM に入っている完全版ユーザー・ガイドに記載されています。完全版ユーザー・ガイドは、オンラインで、またはプリントアウトしてお使いいただけます。さらに、ソフトウェアにはヘルプファイルが組み込まれており、きめ細かくサポートされています。

次の項目については、CD-ROM の完全版 DFR11EQ バージョン 5 ユーザー・ガイドをご覧ください：

- ハードウェアおよびソフトウェアの特徴
- Shure リンク・システムの使用法
- DFR11EQ バージョン 5 ソフトウェアの完全操作
- メイン・コントロール・パネルとレスポンス・グラフ・ソフトウェア
- フィードバック・リデューサー・ソフトウェア
- グラフィックおよびパラメトリック・イコライザー・ソフトウェア
- デレイ・ソフトウェア
- リミター・ソフトウェア

ソフトウェアのインストール

コンピューターの最低必要条件

次は Shure DFR11EQ バージョン 5 ソフトウェアを動作させるための、最低限度の必要条件です。

- 486DX 50 MHz IBM® 互換機コンピューター 1 台 (数値換算コプロセッサ必要)
- 2 MB ハードドライブ空き容量
- 4 MB RAM
- CD-ROM ドライブ
- Windows バージョン 3.1x、95、98、NT のいずれか
- 使用可能な RS-232 シリアル (COM) ポート 1 つ
- RS-232 ケーブル 1 本 (9 ピンから 9 ピン / 9 ピンから 25 ピン)

RS-232 (COM) ポートで DFR11EQ をコンピューターに接続する



1. ケーブルの 9 ピン・プラグ (オス) を DFR11EQ の SR-232 ポートに接続します。
2. ケーブルのもうひとつの端をコンピューターの RS-232 ポートに接続します。

ソフトウェアのインストール

1. 付属の CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入します。(注：最初のインストールが完了したら、あとはソフトウェアを使用するのに CD-ROM は不要です。)
2. スプラッシュ画面が表示されます。Windows 95 以降のバージョンまたは Windows NT4 以降のバージョンをお使いの場合は、DFR11EQ バージョン 5 ソフトウェアをクリックして選択して下さい。インストール手順が開始されます。Windows 3.1x をお使いの場合は、[ファイル] / [実行] を選択し、d:\SETUP16.EXE を実行させます。
3. 「Shure セットアップ」は DFR11EQ バージョン 5 ファイルのハードディスクの宛先を確認するように表示し、またコンピューターのハードウェアをチェックして、コプロセッサがあることを確認します。さらに、ユーザーの名前や組織名などその他の情報も尋ねます。

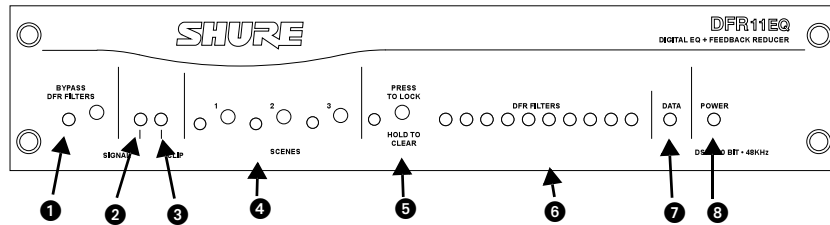
注意：ご使用のソフトウェアの登録をお忘れなく。添付の登録カードに必要事項を記入の上、郵送で登録するか、または Shure ワールドワイド・ウェブサイト ("<http://www.shure.com>") からオンラインでも登録できます。登録されると、追加機能を備えたソフトウェアのバージョンアップについての情報をいち早く確実にお届けできます。

オンライン・ユーザー・ガイドにアクセスする

1. 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。(Windows 3.1x を使用している場合は、CD-ROM フォルダの "Setup 16" アイコンをクリックします。)
2. インストール画面が表示されます。"View User's Guide" をダブルクリックし、次に言語を選択します。
3. ユーザー・ガイドは PDF ファイル形式になっており、表示させるには Acrobat Reader が必要です。(CD-ROM に含まれています) お使いのコンピューターに Acrobat Reader がインストールされていない場合には、インストールしたいかどうかを尋ねられます。
4. ユーザー・ガイドはオンラインで使用できます。また、全体またはセクションごとにプリントアウトして利用することもできます。

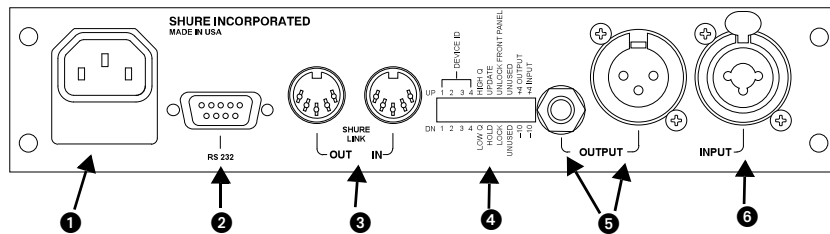
DFR11EQ のパネル

フロント・パネル



- ① **DFR フィルターの BYPASS ボタンと LED。** フィードバック・リデューサーをバイパスしてオーディオ信号からフィルターを取り除くには、このボタンを押します。グラフィック・イコライザーには影響しません。LED が点灯する時は、フィードバック・リデューサーはバイパスされています。
- ② **シグナル LED。** 入力信号がある時に点灯します。強さは入力信号レベルにより異なります。
- ③ **クリップ LED。** 入力レベルがクリッピングレベルから 6 dB の範囲内にある時点灯します。
- ④ **シーン選択ボタンと LED。** このボタンのいずれかを押して、プリセット・シーンを選択します。選択されたシーンの LED が点灯します。
- ⑤ **フィルターの LOCK/CLEAR ボタンと LED。** 設定したフィルターをロックするのにこのボタンを押します。3 秒間このボタンを押し続けると、フィルター設定はクリアされます。フィルターがロックされているときは LED が点灯します。
- ⑥ **フィルター LED (10 個)。** それぞれのフィードバック・フィルターがアクティブなとき、点灯します。フィルターの変更や追加が行われると、この LED は点滅し、その後点灯したままになります。
- ⑦ **DATA LED。** 検知器が新規フィードバック・フィルターを設定したり、既存のフィルターに変更を加えている時は、フィードバック・フィルターは一斉に点滅します。ユニットが接続コンピューターからのコマンドを受信しているときも点滅します。
- ⑧ **POWER LED。** 電源が接続されているときにこの LED が点灯します。

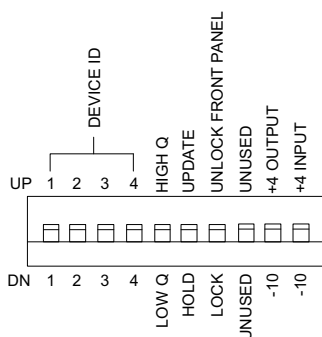
リア・パネル



- ① **電源コネクタおよびヒューズ・ボックス。** 交流電源に接続してください。ヒューズはコネクタの下にあります。
- ② **9ピンRS-232ポート。** ユニートをコンピューターへ接続します。DFR11EQソフトウェアおよびDSPファームウェアのアップグレード用に使用します。
- ③ **Shure リンク・インターフェース。** コンピューターによるアクセスが可能な DFR11EQ を最高 16 台までリンクします。
- ④ **ディップ・スイッチ。** 1 ~ 4 のスイッチはデバイス ID を選択するのに使用します。5 ~ 10 のスイッチは、その他のオプションのために使用します。「ディップ・スイッチ」の項を参照して下さい。
- ⑤ **1/4 インチと XLR の音声出力ジャックを分離します。**
- ⑥ **1/4 インチと XLR の音声出力ジャックを結合します。**

ディップ・スイッチ

DFR11EQ のリア・パネルには 10 個のディップ・スイッチがあります。下の表に各スイッチの機能が説明されています。デバイス ID を設定する方法については、ソフトウェア CD-ROM に入っている DFR11EQ ユーザー・ガイドを参照して下さい。



ディップ・スイッチ	機能	ポジション	
		UP	DOWN
1-4	デバイス ID (CD-ROM のユーザー・ガイドを参照)		
5	フィードバック・フィルター帯域選択 フィードバック・フィルターの Q を決定。	High Q 1/10 オクターブ・フィードバック・フィルターの深度が増加しても開口部は狭いまま。	Low Q 1/10 オクターブ・フィードバック・フィルターの深度の増加に従って開口部は広がる。
6	フィードバック・フィルターのメモリー・モード	Update 電源が切れると、変更されたフィードバック・フィルターの設定を保存する。	Hold 電源が切れると、変更されたフィードバック・フィルターの設定を破棄し、オリジナル設定をホールドする。
7	フロント・パネルのロックアウト	Unlock Front Panel フロント・パネル・ボタン操作可能。	Lock フロント・パネル・ボタン操作不可 (電源スイッチを除く)
8	未使用	-	-
9*	出力感度	+4 dBu 出力	-10 dBV 出力
10*	入力感度	+4 dBu 入力	-10 dBV 入力

*注：入出力レベルの DIP スwitch の使用方法と注意については、このクイック・リファレンス・ガイドの「DFR11EQ を単独でフィードバック・リデュースとして使用する」の項にある「セットアップ」を参照して下さい。

HOLD/UPDATE (ホールド/アップデート)

UPDATE ポジション... HOLD/UPDATE ディップ・スイッチが UPDATE ポジション (デフォルト) の場合、装置の電源を切る度に DFR11EQ はフィードバック・フィルターの設定を保存します。DFR11EQ の電源を再び入れると、フィードバック・フィルターは装置の電源を切った時と同じ設定になります。

HOLD ポジション... HOLD/UPDATE ディップ・スイッチが HOLD ポジションの場合、DFR11EQ はフィードバック・フィルターの現在の設定を直ちに保存します。DFR11EQ の電源を切ると、スイッチ設定後になされたフィードバック・フィルターへの変更は破棄されず。電源を再び入れると、フィードバック・フィルターの設定は HOLD/UPDATE ディップ・スイッチが HOLD ポジションに変更された時と同じ設定になります。この機能はサウンド・システムの最高のフィルター設定を保存するのに便利です。

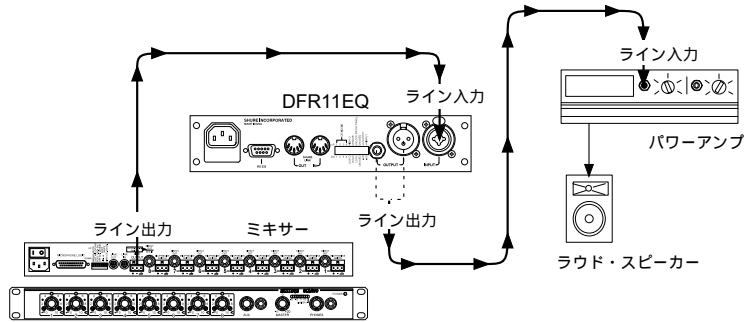
HOLD メモリーでフィルター設定を保存する方法：

1. HOLD/UPDATE ディップ・スイッチを UPDATE ポジションにします。
2. すべての固定フィルターが設定されるまで部屋をリング・アウトします。
3. HOLD/UPDATE ディップ・スイッチを HOLD ポジションにします。
4. パフォーマンスの間、DFR11EQ はダイナミック・フィルターを変更し、固定フィルターの深度を増加します。
5. パフォーマンス終了後、電源を切り再び入れます。DFR フィルターはパフォーマンス前の状態に戻ります。

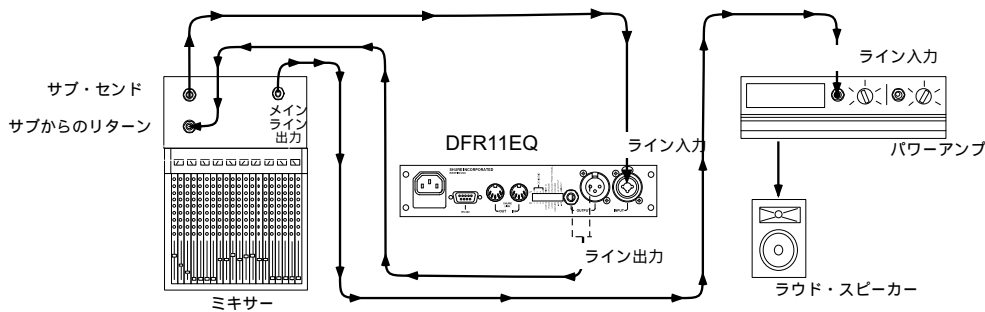
オーディオ接続

注：ケーブルはすべて、必ずシールドされているものを使用して下さい。

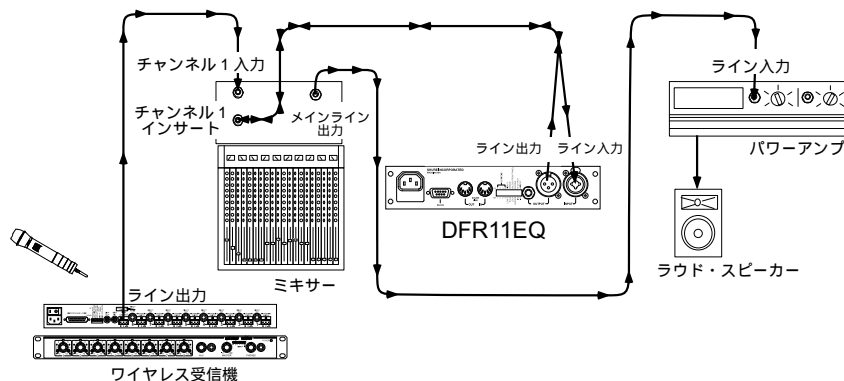
ミキサーのメイン出力とパワーアンプの間 DFR11EQ の最も一般的な配置は、ミキサーのメイン出力とパワーアンプの入力の間です。メイン出力で、ユニットはすべての入力チャンネルに影響を与えます。このセットアップは、DFR11EQ をフィードバック・リデューサーおよびイコライザーとして使用する場合に理想的です。



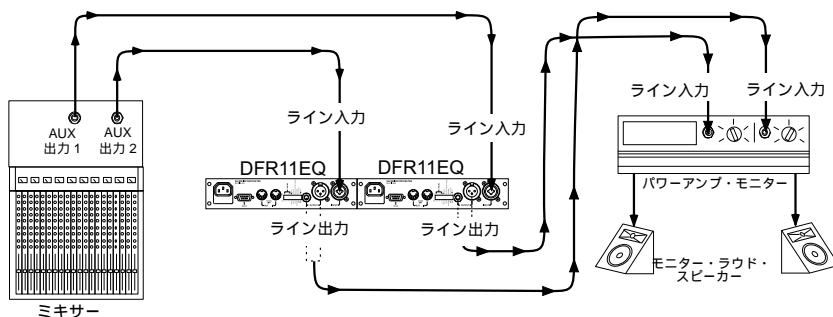
サブグループでのインサート 多重バス・ミキサーを使用する場合、DFR11EQ を単一サブグループにインサート接続することができます。ユニットはそのサブグループに関連するチャンネルだけに影響を与え、その他のチャンネルには影響しません。



入力チャンネルにインサート ひとつのマイクロフォンだけがフィードバックを作り出している場合は、DFR11EQ をそのチャンネルにインサートすることができます。これは特にワイヤレス・マイクロフォンに便利です。パフォーマーの絶え間ない動きによりマイクロフォンが SR スピーカーに近づき過ぎるかも知れないからです。



ミキサーとモニターの間インサート モニター・スピーカーやマイクロフォンは通常ごく接近しているため、モニター・システムを安定させるためにも DFR11EQ を接続することをお勧めします。DFR11EQ をモニター・スピーカーに送るモニター出力に接続します。マルチ・モニター・ミックスには、DFR11EQ は各送信モニターの出力に配置されるべきです。



DFR11EQ を単独でフィードバック・リデューサーとして使用する

フィードバック・コントロールのセットアップ

DFR11EQ を単独のフィードバック・リデューサーとしてセットアップするには、「リング・アウト」手法と「保険的使用」手法の 2 つの方法があります。それぞれ、異なる状況に使用します。

「リング・アウト」手法は、通常の設定よりもシステム・ゲインを上げておき、故意にシステムにフィードバックを起こす先制的方法です。この状態で DFR11EQ にフィルターを設定し、それからシステム・ゲインを少し下げると、システムが安定して使用できる状態になります。このセットアップ方法はフィードバック・ポイント付近で使用されるシステムで、安定する幅に余裕が必要な場合に主に使用します。

「保険的使用」手法では、フィルターはあらかじめ設定せずに、単に DFR11EQ をサウンド・システムにインストールします。DFR11EQ は、フィードバックに対して万一の保険として追加されたこととなります。つまり、フィードバックがないことを前提にしていますが、フィードバックが起こった場合には、DFR11EQ がそこに構えてキャッチするようになっています。このセットアップ方法は、フィードバック前のゲインが十分あるけれども、移動マイクロフォンやユーザー調整のゲイン・コントロールなどによってたまに起こるフィードバックに対する防護が必要であるようなシステムに使用するものです。

セットアップ

1. DFR11EQ を、目的の信号パス位置に接続します。「オーディオの接続」を参照して下さい。
2. 入出力 DIP スイッチを、接続機器のレベルに合わせて適切な設定に調整します。

警告：DFR11EQ 入力が +4、出力が -10 に設定されている場合、DFR11EQ の電源を切ると、他の装置を破損する可能性があります。この設定値を使用するのは避けてください。

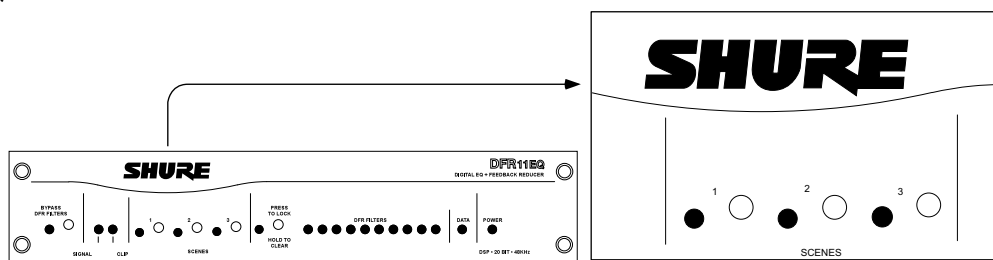
3. システム・ゲインを最小に設定し、装置すべての電源を入れます。
4. システムのゲインを少しずつ上げていき、各マイクロフォンのゲインが目的のレベルに達するように設定します。
5. 信号が最高ピークに達すると、赤の CLIP LED が点灯するはずですが、最高ピークでなくても頻繁に点灯する場合は、入力レベル・スイッチが適切に設定されているかどうかチェックして下さい。適切に設定されている場合は、DFR11EQ に入る信号のレベルを低くします。
6. DFR11EQ に組み込まれているイコライザーか、あるいは外部イコライザーを使って、サウンド・システムをイコライズするよう強くお勧めします（コンピューター・インターフェースの項を参照）。DFR11EQ のフィードバック・リデューサーは、イコライズされたサウンド・システムにおいて、より能力を発揮します。

システムを「リング・アウト」する（「リング・アウト」手法のみ）

1. BYPASS と LOCK の LED が点灯している場合は、オフにします。
2. DFR11EQ を通る信号のゲインを少しずつ上げていきます。フィードバックが起こったら、DFR11EQ はこのフィードバックを止めるのに十分な深さのフィルターを挿入します。
3. 固定フィルターがすべて設定されるまで、ステップ 2 を繰り返します。（コンピューター・インターフェースで変更が加えられていない限り、固定フィルターは 5 つあります。）
4. ゲインを 3 ~ 6 dB 下げて、サウンド・システムを安定させます。

注：オート・ミキサーを使用している場合は、リング・アウト中はすべての入力をロックしてください。

シーンの選択



DFR11EQ のフロント・パネルは、3 組のシーン選択ボタンと LED があります。これにより、各シーン（プリセット EQ、DFR フィルター、ディレイ設定）に簡単にアクセスすることができます。また、DFR11EQ とコンピューターの接続を切ったあとも、DFR11EQ バージョン 5 ソフトウェアを使用して作成されたシーンにアクセスすることができます。また、次のようにしてコンピューターを使用せずに DFR だけのシーンを作成することができます。

1. フロント・パネルでシーン 1、2、3 のいずれかを選択します。
2. システムのリング・アウトを行います。（「システムをリング・アウトする」を参照。）

フェーズをリング・アウトしている最中に作成されたフィルターは、シーンを選択するだけで呼び出すことができます。

注：フロント・パネルの SCENE ボタンは、ユーザーが特定のシーンを作成しない限りフラットなレスポンスを出すよう、工場出荷時に設定されています。

仕様

周波数特性

20 ~ 20 kHz \pm 1.0 dB re 1 kHz

ダイナミック・レンジ

104 dB 以上、A-weighted 20 Hz ~ 20 kHz

サンプリング・レート

48 kHz

D/A A/D コンバーター

20 bit

ゲイン

-1 dB \pm 1 dB (電源オフ)

0 dB \pm 2 dB (入出力同感度)

12 dB \pm 2 dB (入力 -10 dBV、出力 +4 dBu)

-12 dB \pm 2 dB (入力 +4 dBu、出力 -10 dBV)

インピーダンス

入力：47 k \pm 20% (実効)

出力：120 \pm 20% (実効)

入力クリッピングレベル

+18 dBu (+4 dBu 設定)

+6 dBu (-10 dBV 設定)

出力クリッピングレベル

+18 dBu (+4 dBu 設定)

+6 dBu (-10 dBV 設定)

全高調波歪率

0.05% 以下 (1 kHz、+4 dBu、20 Hz ~ 20 kHz)

LED インジケーター

入力クリッピングより - 6 dB のレベルで点灯

入出力間伝送遅延

1.0 ms 以下、全フィルターをフラットに調整

(0 ms デイレイ設定)

極性

入力 ~ 出力：正相

XLR：ピン 3 に対するピン 2 に正電圧 (2 番ホット)

$\frac{1}{4}$ インチ・ステレオ・フォン・プラグ：リングに対するチップに正電圧 (チップ・ホット)

電源電圧

DFR11EQ: 最大 AC 120V、50/60Hz、75 mA

DFR11EQJ: 最大 AC 100V、50/60Hz、75 mA

DFR11EQE: 最大 AC 230 ~ 240V、50/60Hz、38 mA

温度範囲

動作時：- 7° ~ 49°C (20° ~ 140°F)

外形寸法

219 mm x 137 mm x 44.5 mm (8 $\frac{5}{8}$ in x 5 $\frac{3}{8}$ in x 1 $\frac{3}{4}$ in)

重量

930 g (2.05 lbs)

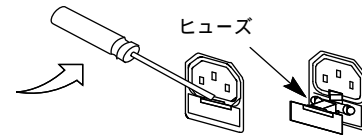
ヒューズ

DFR11EQ: AC 120V スローブロー・ヒューズ:100 mA、250V

DFR11EQJ: AC 100V スローブロー・ヒューズ:100 mA、250V

DFR11EQE: AC 230 ~ 240V スローブロー・ヒューズ:50 mA、250V

切断したヒューズを取り換えるには、パワーコードを外して先の平らなドライバーでヒューズ・ボックスを開けます。



フィードバック・フィルター

フィルター効果深度：10 バンド、 $\frac{1}{10}$ オクターブ、アダプティブ・ノッチ・フィルター (60 Hz ~ 20 kHz)

フィルター効果周波数：1 Hz より。

3 dB、6 dB、9 dB、12 dB、18 dB 最大 (12.5 Low Q、グラフィック EQ モード)

フィルターの形態は HI Q または LOW Q (「ハイ Q 対ロー Q フィルター」の項を参照)

グラフィック・イコライザー

周波数帯域

30 バンド (ISO)、 $\frac{1}{3}$ オクターブ

フィルター・タイプ

$\frac{1}{3}$ オクターブ、コンスタント Q

最大増幅値

6 dB/各帯域

最大減衰値

12 dB/各帯域 (ハイパス、ローパス・フィルター) 公称 12 dB/oct

パラメトリック・イコライザー

周波数帯域

10 バンド、周波数/Q 可変

増幅 / 減衰値

+6 dB ~ -18 dB per band

Q レンジ

$\frac{1}{40}$ ~ 2 オクターブ

シェルフ / ロールオフ・フィルター

シェルフ: +6 ~ -18 dB

ロールオフ: 6、12、18、24 dB/オクターブ

デイレイ

最大 1300 ms

リミター

閾値: - 60 dBfs ~ - 0.5 dBfs、分解能 0.5 dB

アタック: 1 ms ~ 200 ms

減衰: 50 ms ~ 1000 ms

比: ~ 1

オーディオ・コネクター

DFR11EQ オーディオ入力

コネクター: (XLRと1/4インチ・ コンビネーション)	XLR (メス)	1/4インチ・ステレオ・ フォンジャック (メス)
構成:	アクティブ・バランス	アクティブ・バランス
実効インピーダンス:	47 kΩ	47 kΩ
定格入力レベル:	+4 dBu (+4 入力時) -10 dBV (-10 入力時)	+4 dBu (+4 入力時) -10 dBV (-10 入力時)
最大入力レベル:	+18 dBu (+4 入力時) +6 dBV (-10 入力時)	+18 dBu (+4 入力時) +6 dBV (-10 入力時)
ピン配列:	ピン 1= グランド ピン 2= ホット ピン 3= コールド	チップ= ホット リング= コールド スリーブ= グランド
電圧 / 電源 / ファントム 電源プロテクション	あり	あり

DFR11EQ オーディオ出力

コネクター: (XLRと1/4インチ・ コンビネーション)	XLR (メス)	1/4インチ・ステレオ・ フォンジャック (メス)
構成:	アクティブ・バランス クロス接続	アクティブ・バランス クロス接続
実効インピーダンス:	120 Ω	120 Ω
定格出力レベル:	+4 dBu (+4 出力時) -10 dBV (-10 出力時)	+4 dBu (+4 出力時) -10 dBV (-10 出力時)
最大出力レベル:	+18 dBu (+4 出力時) +6 dBV (-10 出力時)	+18 dBu (+4 出力時) +6 dBV (-10 出力時)
ピン配列:	ピン 1= グランド ピン 2= ホット ピン 3= コールド	チップ= ホット リング= コールド スリーブ= グランド
電圧 / 電源 / ファントム 電源プロテクション	あり	あり

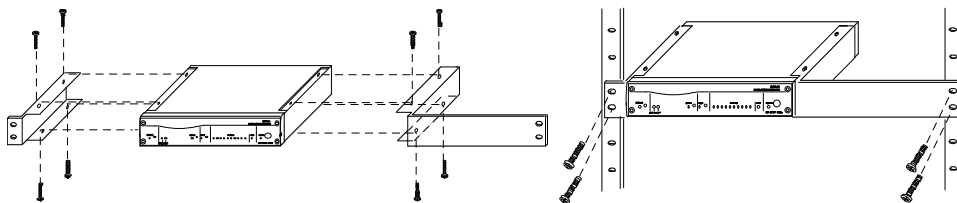
提供付属品

- 電源ケーブル (DFR11EQ/DFR11EQJ) *95A8389
- 電源ケーブル (DFR11EQE) *95A8247
- 電源ケーブル・クランプ*95A8712
- 5ピン DIN Shure リンク・ケーブル95A8676
- シングル・マウント・ラック・ブラケット53A8484
- デュアル・マウント・ラック・ブラケット53B8484
- ストラドル・バー53A8443
- DFR11EQ バージョン 5
- ソフトウェア / ユーザー・ガイド CD-ROM 95A8830A

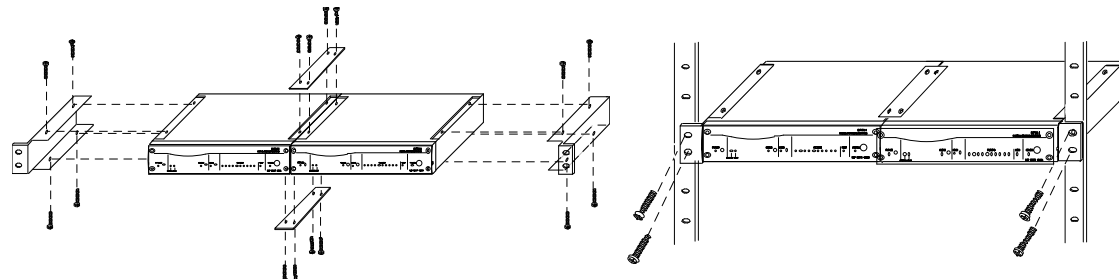
*注: 電源コードと電源ケーブル・クランプは、組立て済みで供給されています。電源コードを取り替える必要がある場合には電源コード・クランプが必要です。組立てられていない場合は、できるだけ電源コードのメス端子近くに電源コード・クランプを固定して下さい。

ラック取り付け

シングル・ユニット



デュアル・マウント・ユニット



認定

DFR11EQ (バージョン 5)

UL 規格および cUL 規格、UL6500 および CSA E65。FCC 第 15 部によりクラス B デジタル・デバイスとして認可済み。

DFR11EQE (バージョン 5)

CE マーク資格認定。欧州連合 (EU) 低電圧条件指令 2006/95/EEC に適合。EN 60065 に関し VDE GS 認定。欧州連合 EMC 指令 89/336/EEC に適合。住宅 (E1) および軽工業 (E2) 環境において、欧州規格 EN55103 (1996 年) 1 部および 2 部の該当する試験および性能基準に対応。

注:

*EMC 適合試験は、推奨されている付属のケーブルを使用する条件のもとで行われています。他の種類のケーブルを使用すると、EMC 適合性能が低下することがあります。

*電源に、きわめて異常な過渡電流が生じた場合は、DFR11EQ と制御 PC との間の通信が中断されることがあります。装置が破損することはありません。CONNECT ボタンまたは CONNECT コマンドを使用して接続し直せば、通常の使用状態に戻ります。

*本クラス B デジタル装置はカナダ ICES-003 に準拠。

ユーザーへの情報

変更あるいは修正が Shure 社により明示的に承認されていない場合は、このデバイスを操作する権限が無効になる恐れがあります。

この装置は試験を受け、FCC 規定の第 15 部に従ってクラス B デジタル・デバイスの制限を遵守していることが認定されています。この制限は、住宅用取付けの際の有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設定されています。この装置は、無線周波数電波を生成、使用、放射することがあります。さらに、その取付けや使用が指示に従って行われていない場合には、無線通信に有害な干渉を起こす恐れがあります。しかし、特定の取付けを行ったからといって干渉が発生しないという保証は全くありません。万一この装置が無線あるいはテレビの受信に有害な干渉を起こしている場合は、装置のオン/オフを切り換えるとわかります。その場合には、次の方策のいずれかを試して干渉を補正するようにお勧めします。

- 受信用アンテナの方向や場所を変えます。
- この装置と受信機との間の距離を広げます。
- 受信機が接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに装置を接続します。
- 支援が必要な場合は、ディーラーまたは経験のある無線 / TV 技術者に相談してください。

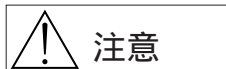
安全にお使いいただくために

危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- ・ 整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。電源コードやプラグの損傷、液体や異物が装置内に入り込んだ場合、装置が雨や湿気にさらされた場合、正常に作動しない場合、装置を落とした場合など、装置が何らかの状態に損傷した場合は、整備が必要です。
- ・ 装置に水滴やしびきが付かないようにしてください。装置の上に花瓶などの液体の入った物を置かないでください。
- ・ 本製品の改造は試みないでください。改造した場合には怪我や製品故障の原因となります。

注意

- ・ この製品は水の近くで使用しないでください。
- ・ 掃除は、必ず乾いた布で拭いてください。
- ・ 通風口を塞がないようにしてください。使用説明書に従って設置してください。
- ・ ラジエーターや暖房送風口、ストーブ、その他、熱を発生する機器（アンプなど）の近くには設置しないでください。
- ・ 有極プラグやアース付きプラグは安全のために用いられています。無効にしないようにしてください。有極プラグは、2本のブレードのうち一方が幅広になっています。アース付きプラグは、2本のブレードの他に、3本目のアースの棒がついています。幅広のブレードや3本目の棒は、安全のためにあるものです。これらのプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、コンセントを交換してもらってください。
- ・ 電源コードは、特にプラグ差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、引っかかって抜けたり挟まれたりしないように保護してください。
- ・ アタッチメントや付属品は、必ずメーカー指定のものをご利用ください。
- ・ カートやスタンド、三脚、ブラケット、テーブル等は、メーカー指定のものが、この装置用に販売されているものを必ずご利用ください。カートを使用する場合は、装置を載せて移動する際、怪我をしないよう注意してください。
- ・ 雷を伴う嵐の際、または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。



●送信機技術基準適合証明ラベルについて

送信機は電波法で規定される技術基準適合証明品です。証明番号を記した証明ラベルが1台ずつ貼ってあります。表示の変更、除去は法律で禁じられていますので、みだりに剥がしたり、損傷することのないよう注意してください。

●違法改造について

機器を分解したり、内部の部品に触れたりしないでください。改造等は法律で禁じられています。

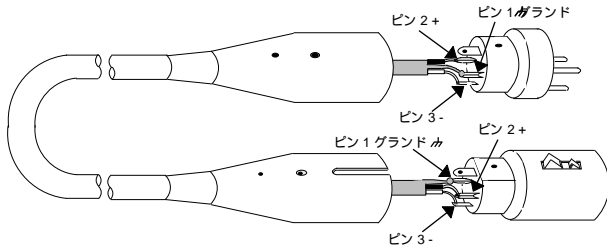
オーディオ・ケーブル

オーディオ装置のコネクターにはさまざまあるため、ケーブル接続の際に混乱を招くことがあります。下図は、ほとんどの一般的な環境に適合するケーブル接続です。このリストは完全なものではなく、一般的に使用されるケーブルおよびアプリケーションの例を挙げています。サウンド/システム装置によっては、ピン出力がここに示された例とは異なる場合があります。各装置の説明書を参照して下さい。

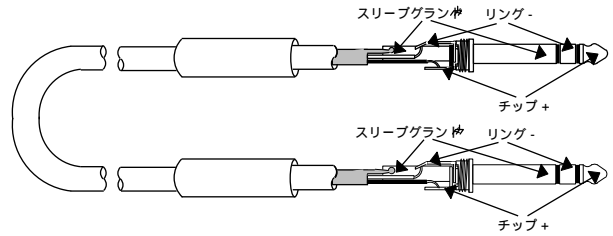
注：オーディオ・ケーブルはすべてシールドされていなければなりません。Shure Link ケーブル以外の図中のケーブルは、DFR11EQバージョン5には付属していません。

- ミキサー・ライン・アウトから DFR11EQ 入力へ
- DFR11EQ 出力からアンプ入力へ
- DFR11EQ 出力からミキサー・サブ・リターンへ
- ミキサー・センドから DFR11EQ 入力へ
- ミキサー・サブ・センドから DFR11EQ 入力へ

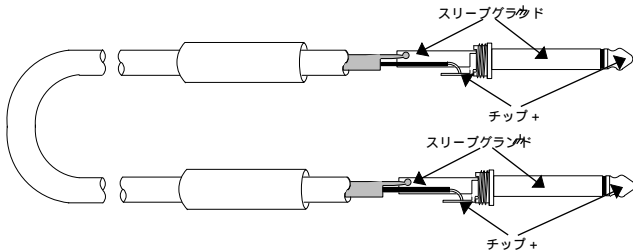
XLR (オス) から XLR (メス) へ



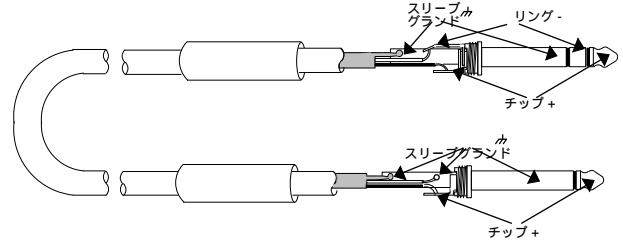
1/4 インチから 1/4 インチ・バランスへ



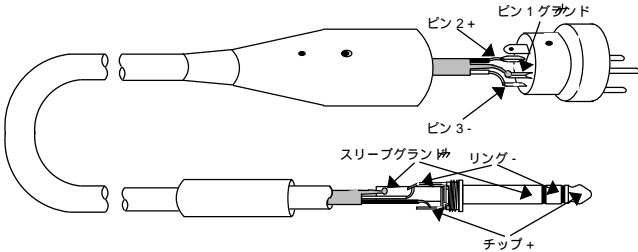
1/4 インチから 1/4 インチ・アンバランスへ



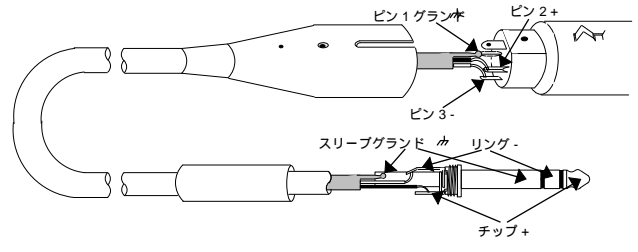
1/4 インチ・バランスから 1/4 インチ・アンバランスへ



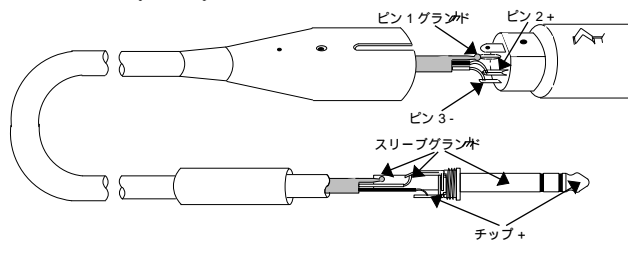
XLR (オス) から 1/4 インチ・バランスへ



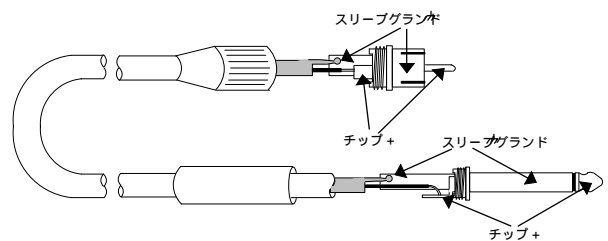
XLR (メス) から 1/4 インチ・バランスへ



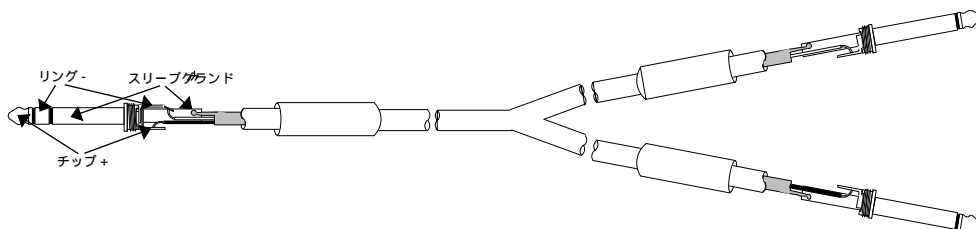
XLR (メス) から 1/4 インチ・アンバランスへ



RCA から 1/4 インチ・アンバランスへ • DFR11EQ 出力からアンプ入力へ



Y アダプター・ケーブル、1/4 インチ・バランスから 1/4 インチ・アンバランスへ • ミキサー・センド/リターン (インサート) から DFR11EQ 入力・出力

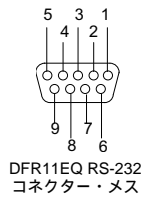
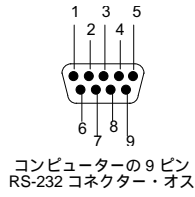
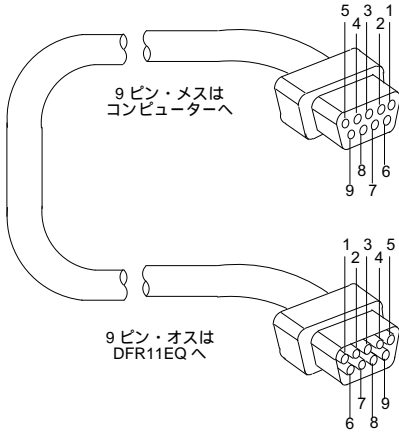


デジタル・コネクタとケーブル

注：デジタル・コネクタおよびケーブルはすべて、シールドされていなければなりません。

コンピューター・インターフェース

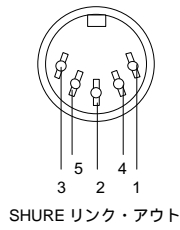
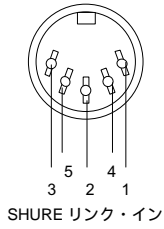
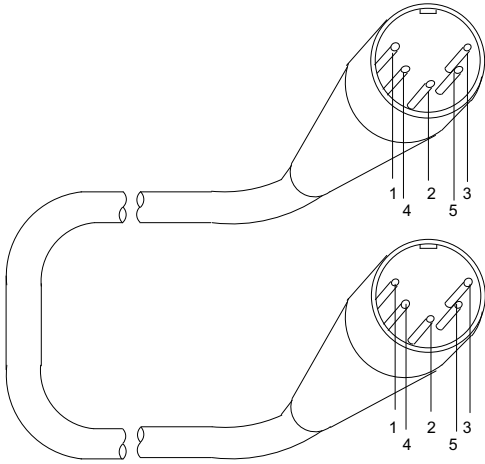
9ピンから9ピンRS-232ケーブル



機能	ピン No.
-	1
RX	2
TX	3
DTR	4
GND	5
DSR	6
RTS	7
CTS	8
-	9

SHURE リンク・ケーブル

5ピンDINケーブル (MIDI 互換ケーブル)



機能	ピン No.
-	1
データ	4
シールド	2
データ	5
-	3



United States:

Shure Incorporated
5800 West Touhy Avenue
Niles, IL 60714-4608 USA

Phone: 847-600-2000
Fax: 847-600-1212
Email: info@shure.com

Europe, Middle East, Africa:

Shure Europe GmbH
Wannenäckestr. 28,
74078 Heilbronn, Germany

Phone: 49-7131-72140
Fax: 49-7131-721414
Email: info@shure.de

Asia, Pacific:

Shure Asia Limited
Unit 301, 3rd Floor
Citicorp Centre
18, Whitfield Road
Causeway Bay, Hong Kong

Phone: 852-2893-4290
Fax: 852-2893-4055
Email: info@shure.com.hk

**Canada, Latin America,
Caribbean:**

Shure Incorporated
5800 West Touhy Avenue
Niles, IL 60714-4608 USA

Phone: 847-600-2000
Fax: 847-600-6446
Email: international@shure.com